

## 共通論題テーマ 「成長」

今年度のゼミ成果発表会では、「成長」を共通論題として取り上げます。私たちが暮らす社会において、「成長」は長らく議論されてきた普遍的なテーマです。経済学的な「成長」は、主に一国における GDP の拡大といった、マクロ的な視点で捉えた豊かさの向上を意味します。一方、経営学的な「成長」は、企業等の組織が持続的に発展し、社会の変化に適応しながら価値を生み出し続ける過程を意味します。さらに、個の積み重ねが社会を作り、社会の在り方が個に再び影響を及ぼすことから、両者の「成長」は相互に関連し合うことで、人々の生活や幸福度に大きな影響を与えているのです。

現代社会において、とりわけわが国におけるマクロ的成長に目を向けると、人口減少や高齢化、地球環境問題、伝統的政策の限界や国際情勢における不確実性の中で、持続可能性を踏まえた新しい成長の在り方が模索されています。また、単なる量的拡大ではなく、個々人の健康状態や社会とのつながりなど、一般的な指標には現れない質的な充足や幸福度にも注目が集まっています。同時に、経営の現場では、AI やデジタル技術の活用によるビジネスモデルの変革、人材の多様性を活かした組織運営、社会的責任を果たす経営姿勢などが、企業成長の新しい形として重要になりつつあります。財務の視点では、企業価値を最大化するために資金調達・運用を効率化することだけでなく、サステナビリティ情報の開示も注目を集めています。

こうした背景を踏まえ、各ゼミで現状の社会・経済を深く観察した上で、経済学・経営学双方の視点から「成長」に関する課題と可能性にアプローチし、これからの社会にふさわしい成長の在り方や手段を考察してほしいと考えています。学生ならではの柔軟でユニークな研究に期待すると同時に、研究の過程を通して、社会現象に対する鋭い洞察眼を養ってくださることを期待しています。

2025 年 10 月  
國學院大學経済学部教務委員会